



「最近の若者は本を読まない」という問題を解決するため新形態の書店を提案する。

若者の本離れが加速する原因の1つとして"何を読めばいいか分からない"という意見が多くある。確かに普段本を読まない人は本屋に行くこととがなく、表紙だけでは何を選べばいいのか分からない。 そこで壁面に共感できるような小説の一文を貼ることで「読書に関心が無い人」「読書が好きな人」も小説の中身を少しだけ知ることで中身が気になり、購買意欲を高める。



より高めてもらいます。

